

会議録（要点筆記）

会議名	令和4年度 第3回米原市環境審議会
開催日時	令和5年2月2日（木） 午後6時30分から午後8時30分
開催場所	米原市役所 1階 コンベンションホールA
出席者および 欠席者	出席者：井手慎司（会長）、須藤明子（副会長）、松下京平、内藤幹滋、秋野忍、伊夫 伎博夫、横井智規、久保田貢、澤田隆文、藤田知丈、津田千恵子、富岡尚子、 井上智子 欠席者：嶋野美知子 事務局：（市民部）西村部長 （自治環境課）瀧上課長、大塚課長補佐、鎌田 傍聴人：0人 <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>
議題	議事 (1) 第2次米原市環境基本計画【改訂版】について (2) 米原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要版について
結論	議事 ・環境基本計画パブリックコメント案（環境基本計画【改定版】（案））について審議 を行った。事務局は委員意見を踏まえた修正等を行い、今後、パブリックコメント 手続きを進める。 ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要版（素案）について審議を行った。 今後、委員意見を踏まえて、概要版の構成・内容・デザインなどについて再検討を 行う。
自治環境課長	1. 開会 2. 議事 (1) 第2次米原市環境基本計画【改訂版】について
事務局	※（資料-1）米原市環境基本計画【改訂版】（案）について説明
会長	森林吸収量について、県全体の吸収量目標値を森林面積で案分すると24t程度にな るが、実績から40t程度は確保できるとの考えから、差し引き16tを米原市独自の 追加削減量としたということが良いか。
事務局	そのとおりです。概ね現状維持は目指すというものです。
委員	現状趨勢ケースで森林吸収量を考慮しないことについて、もう少し説明してほしい。
事務局	森林吸収量は2013年を基準に、森林蓄積量の増加量から吸収量の増加量を算定して おり、現状趨勢では、2013年度以降、森林吸収を目的とした森林管理は行われ ない、吸収量は大きく増加しないとして推計上は考慮しない形としている。

会長	米原市独自の森林吸収量を 16 t 見込んでいるため、それを考慮すると削減目標を国の目標の 50% から +3% できるという考え方か？
事務局	そのとおりです。
委員	資料 76 ページの資源循環の項目で水草が廃棄物という表現がある。水草は有価物であり、廃棄物ではないため、修正願いたい。また、バイオ炭の研究がされていることは承知しているが、県においても炭化の取組を行っているとは聞いていないので、よく調べてほしい。
会長	未利用有機物等、他の適切な表現とするよう事務局で修正をお願いします。 最終的な報告書を取りまとめる際には市民の皆さんの理解をより深めて頂くため、内容を分かりやすく解説できる用語集を作ってはどうかと思う。
委員	資料 69 ページにある数値目標について、2030 年度目標はデータが示されていて具体的な目標が理解できるが、2050 年の長期目標は数値などの記述がない。まだ先の話なので今後の課題とも思われるが、二酸化炭素だけに止まらずその他の温室効果ガスについても削減目標などを示していく必要があると思う。
会長	2030 年に向かって取組を進め、目標を達成すると同時に 2050 年に向かって温室効果ガスゼロを目指す、という一文を加えることを事務局で検討願う。
委員	資料 69 ページにある中長期目標について、2030 年度目標はデータに基づいて具体的な数値目標を示すために削減対象を二酸化炭素のみに絞ったことは理解できるが、2050 年度の長期目標は数値などの記述がない。まだ先の話なので今後の課題とも思われるが、具体的な数値目標を示す必要がないのであれば、2050 年度の目標については二酸化炭素だけに止まらずその他の温室効果ガスも含めた実質ゼロ実現と表記すべきである。
会長	資料に書かれている内容は基本方針を示したもので、今後、具体的な行動や取組が決まってくると思われるが、事務局、いかがか。
事務局	ご指摘頂いた内容を踏まえて、施策や事業展開に活かしていきたい。
会長	啓発といえば、財団で出前講座を実施されていると思う。
委員	公民館や学校等へ出向き、様々な教材を活用して地球温暖化防止につながる環境にやさしい暮らしや行動を実施して頂けるように呼びかけを行っている。また、琵琶湖の現状や変化について学んで頂き、美しい琵琶湖を守るために自分に何ができるのかを考えて頂くプログラムを展開している。

会長	今後の事業推進の観点からも啓発はとても重要なので、市には、そうした活動もお願いしたい。
委員	アンケートでは 30 代や 40 代の子育て世代が大変で環境を考える余裕がないのではとの話があったが、子供たちから親や地域の大人たちへの働きかけを充実するという事もお願いしたいと思う。
副会長	素案からお願いした修正がなされていると思う。 1 点、資料 13 ページなどの「環境を生かす」の「生かす」は活用を意味する「活かす」だと思うので、対応をお願いします。
会長	事務局で、指摘事項の対応をお願いします。
委員	資料の中にある参考事例やコラム、用語の説明は、資料編や別冊にまとめた方が、資料全体のボリュームが減り、より理解しやすい内容になるとように感じた。
会長	この指摘は、これから議論する概要版の方でまとめられていると思うので、事務局より、そちらの説明をお願いします。
	(2) 米原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要版 について
事務局	※（資料-5）米原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版(案)について説明
会長	米原市民の皆さんの目に触れる機会が多いのは、概要版が中心になると思うので、積極的なご発言をお願いします。
委員	資料の出だしでは中期目標が 2030 年までとなっているのに対して、その次のページから 2050 年に二酸化炭素排出実質ゼロという長期目標にすり替わっていて紛らわしいと思う。今回は 2030 年度までの計画だから、中期目標 2030 年として統一した方が良い。
委員	中期目標では、市独自の地域として取り組んでいくことを記載するべきと思う。米原市独自に何をすることが重要で、アンケート調査結果を活用して、調査結果に基づいたアピールをすべきだと思う。 事業者等の取組について、エコビレッジ等の拠点については、取組の一例という扱いではなく、もっと全面に押し出してアピールすべきだと思う。 また、米原市では森林吸収量が重要ということであったが、概要版では森林保護の扱いが小さい。森林を守ろうということをもっとアピールすべきだと思う。

委員	アンケート調査ではハザードマップの存在を知らない市民が一定数あった。直接の排出量削減には繋がらないにしても気候変動のネガティブなリスクや情報も提供する必要がある。今後の取組について、事務局の意見を伺いたい。
事務局	気候変動適応策等については滋賀県と地球温暖化防止活動推進センターが共同で冊子を作成し、ホームページでも公開しているので、今回作成する概要版を普及する際にこれらの冊子も一緒に活用していきたいと考えている。また、一般的な事柄はそちらにまとめられているため、この概要版については市の独自性を出すよう検討したい。
委員	アンケート調査結果を活用して、より良い資料作りをお願いします。
会長	県で作成された冊子も活用すればいいと思うが、米原市独自の取組というものを中心にアピールすることが重要なので、検討をお願いします。
会長	来訪者に対する取組について、概要版では米原市が「働きかける」という表現だが、基本計画本編では「来訪者は〇〇します。」という表現となっている。表現が強くなり過ぎることを避けるなら「〇〇しましょう。」というような柔らかい表現に変えて、統一した書き方にすればよいと思う。
委員	基本政策4の②「地域産木材の積極的な利用」について、「利用」だと一昔前のように木材を切り出して柱や屋根に利用するというような誤解が生じる。「利用」という表現ではなく「活用」という表現が正しいので、修正をお願いします。
委員	脱炭素先行地域の事例を事業者欄に入れてしまうと、地域の活動であるはずなのに市民の方が見えなくなってしまう。事業者が取り組むのはあくまでも脱炭素経営だと思うので、その辺りを注意する必要があると思う。
委員	この概要版に多様なターゲット層に向けた普及啓発の目的まで持たせようとするのは無理があると思う。概要版については、あくまで長文にわたる基本計画全体を簡単に理解できるように、計画全体のエッセンスをまとめたような内容に絞るべきと考える。一方で、県などが作った既存の資料の活用も含め、それぞれのターゲット層に向けた普及啓発の取組については別途お願いしたい。
会長	内容が詰まり過ぎていて、誰に届けたいのか分からない資料になるより、ターゲットを絞って作るという方法もあるので検討頂きたい。
委員	ゼロカーボンアクション30の中では衣服の分野が3つも盛り込まれているのに、基本計画の中には少ししか触れられていない。衣食住のバランスをとり、本編にも記載して頂きたい。

会長	事務局の方で、衣の部分での取組を検討して下さい。
委員	<p>市民は既に一生懸命頑張っている。そのことを評価した上で、市民のモチベーションを高めて活動を継続するという意味において、今転換を進めなければならないことをもっと強力に押し出した方が良いと思う。</p> <p>また、概要版に市の風景写真があるが、この写真の中に米原市民が環境対策に取り組んでいる姿が写っていれば、それを見た来訪者に対して米原市民は頑張っているからぜひ協力してほしいというメッセージにもなると思う。</p>
会長	メッセージとして、米原市民は頑張っているぞという意味合いが重要だというご意見ですね。写真の選定等、事務局で検討して下さい。
副会長	もう少し、写真やイラストを追加して、見てみようとか手に取ろうと思って頂ける資料にして頂きたい。
会長	事務局でご検討よろしく願います。
委員	2030年以降について、2050年に二酸化炭素排出量ゼロを達成することは既定路線であり、米原市としては排出量ゼロ以上、排出権取引を実施するぐらいの野心的な目標を掲げていいのではないかと思います。さらに目指すべきはエネルギーの地産地消であり、米原市内で発電した電力を市内で消費しながら人々が働き、生活するというスタイルの確立を目指すべきだと思います。
会長	私としては、米原市の特徴である炭素吸収源である森林の存在をもっと推していけばいいのではないかと思います。
委員	<p>3. その他</p> <p>※委員よりドキュメンタリー映画上映について案内</p> <p style="text-align: right;">以上</p>